

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

多治見市議会議長 様



令和7年8月20日

会派名 自民クラブ

14番議員 氏名 柴田雅也

質問題名	市民が主役として、住んでみたいまち 住み続けたいまちを実感できる多治見市へと繋げていくための行政の役割について
質問要旨	6月議会での一般質問では「多治見市の魅力について～高木市政1期目2年間の振り返りについて聞く」と題して高木市長にこの2年間、市政の舵取りをしていく中で多治見市の魅力をどう捉えてきたのか？問いました。 そのような中で市長は多治見市の魅力について 一番の魅力は多治見市民の皆さんであるというふうに感じています。自ら住んでいるまちを自らの力でよりよくしようとする考えや活動を感じることができ、本市が掲げる「市民が主役！躍動するまち 多治見」を実現する力を持っている市民である。世代や住んでいる地域によって、求めるものが違う。第8次総合計画を着実に進めることにより、住み続けたい、住んでみたいと思っていただけるまちに近づけると信じている。」と答弁されました。 そこで、今回の質問では、市民がまちづくりの主役として、より魅力的な街―「たじみ」となるための具現化に向けた取り組みについて質問をします。
質問項目①	本市は中京学院大学との連携により、どのように市民が主役のまちづくりへと導いていこうと考えていますか？
質問項目②	本市が考える市民が主役となる地域力について見解を述べてほしい。また、持続可能な地域力のための課題についてどう捉えているか？
質問項目③	
質問項目④	
質問項目⑤	
質問の相手方	市長、企画部長、環境文化部長